

幼児教育の無償化に関する意見

全国国公立幼稚園長会

はじめに

近年の子どもを取り巻く環境は必ずしも望ましいものとは言えず、安全・安心な教育環境は、多くの国民の願いでもある。また、少子化の進行や両親の就労状況の変化は、幼児期の教育の在り方に大きな影響を与えている。

本会は、幼稚園教育の充実・発展に尽くしてきた立場から、幼児教育の無償化が真に子どもの最善の利益につながることを願うものであり、国の財政的裏づけとともに、この国の人材育成に関する考え方の基となるものであってほしいと切に願い、以下に意見を述べる。

記

無償化になることの意義・メリット

○幼稚園教育の重要性に対する国民の意識の高まりが期待できる

- ・ 教育基本法に幼児期の教育の重要性が示され、学校教育法改正によって幼稚園が学校の最初に規定された
- ・ 依然として社会的評価が高いとはいえない
- ・ 「無償化されること」は、幼稚園教育の重要性の認識の広がり・深まりにつながる

○義務教育ではなく、無償化であることの意味・妥当性

- ・ 全ての子どもが幼児教育を受けられるように、3～5歳児の無償化を
- ・ 義務教育では、発達の個人差の大きさが課題
- ・ 地域環境の違い・集団生活の必要度により、保護者による入園時期の選択が可能

○国家の危機である超少子化への有効な対策として（求められている幼児教育の無償化）

- ・ 保護者は、経済的負担の軽減ができるため、無償化に大きな期待を寄せている
保護者の声は「一日も早く無償化を…」実現してほしい
- ・ 次代を担う人づくりの根本的な対策として
子どもが子どもらしく生きる環境【教育的環境】の必要性
子どもが子どもらしく生きることの大切さを親に伝え、具現化する必要性

無償化による幼児教育への期待の増大を受けて、今後の幼稚園の課題

○無償化による幼児教育への期待の大きさをを受けて、幼稚園は

- ・ 幼稚園教育要領の趣旨に沿った教育活動の充実
- ・ すべての幼児教育施設が、教育の質を高めるための組織や研修の重要性
子育ての外注化を防ぎ、子どもの心身の発達にとって最もふさわしい教育環境をつくるための子育て支援（親教育）の充実
- ・ 教育活動の質と教員の力量の高さという教育財産をもつ国公幼は、幼児教育に関する

